

## 記念行事の事業計画と基本方針は 事業計画の中で協議を進めている



こまつ たかとし  
小松 孝年 議員

**問** 入野松原は、国の名勝として1928年2月に指定を受け、2028年2月17日（令和9年度）に「指定100周年」という大きな節目を迎える。100周年の記念行事の事業計画と基本方針は立っているか。

**答** 今西海洋森林課長

指定100周年の記念行事及び基本方針の策定については、8月に開催した入野松原保存会役員会において協議を行い、現時点における記念行事の実施計画の概要について、関係者間での情報共有を図ったところです。

現段階では記念行事の実施計画については、令和9年度の秋頃から冬頃の開催を一つの目途として、入野松原保存会をはじめとする各関係機関と連携しながら、指定100周年という節目について地域全体でお祝いする行事としたいと考えています。



**問** 観光や地域振興につなげていくために砂浜美術館や道の駅との連携を考えてはどうか。

**答** 渡辺教育次長

例えば、Tシャツアート展やはだし馬拉ソンのイベントに100周年を入れ込み、入野松原と町のPRをしてはどうか。

はだし馬拉ソンについては、教育委員会が管轄となっています。現在のところ、この関連する記念行事という計画はありませんが、今後、関係者等含めて何かできることはないか検討したいと思っております。

松原の功績をたたえる石碑



谷忠澄、堀内雍喜氏の頌徳碑



宮川竹馬翁頌徳碑

**南海地震対策**  
液状化対策についての認識  
ソフト対策の強化が重要

**問** 液状化のリスクをどのように把握し、ハード、ソフト面からどのような対策を考えるか。

**答** 宮川情報防災課長

避難ルートが途絶した場合を想定した複数の避難経路の事前確認や迂回ルートの検討を進め、さらに、地域の防災訓練等においても、液状化等による道路不通を想定した実践的な訓練を取り入れるなど、ハザードマップと連動した啓発活動を推進し、迅速かつ安全な避難体制の確保に努めてまいります。

【その他の質問】

・避難所のエアコン整備や住民間連携について